

和 泉 村 採 集 記

羽 水 高 校 渡 辺 定 路

長野ダムも今年の六月には満水となり、米俵、久沢、面谷、荷暮、平家岳には行けなくなってしまいました。先般岐阜薬科大学植物研究部が発行している「ウエルウイツチャ」27号特集「奥美濃の植物」(板取川上流流域)をもらい平家岳の植物を見るにつけ昨年平家岳に行かなかった事を後悔しています。

また、面谷、久沢、伊勢方面でアブに攻められ困った事も今はなつかしく感じられます。このように思い出に浸りながら和泉村採集物、及び記録を調べると、1964年8月6日→面谷、7日→久沢、8日→白馬洞、田茂谷、1965年8月9日→白馬洞、10日→伊勢、11日→入谷国有林、1967年7月22、23日→湖底に沈む大谷、面谷、米俵付近、24、25日→入谷国有林にはいり採集したので、これらの採集の結果を報告します。

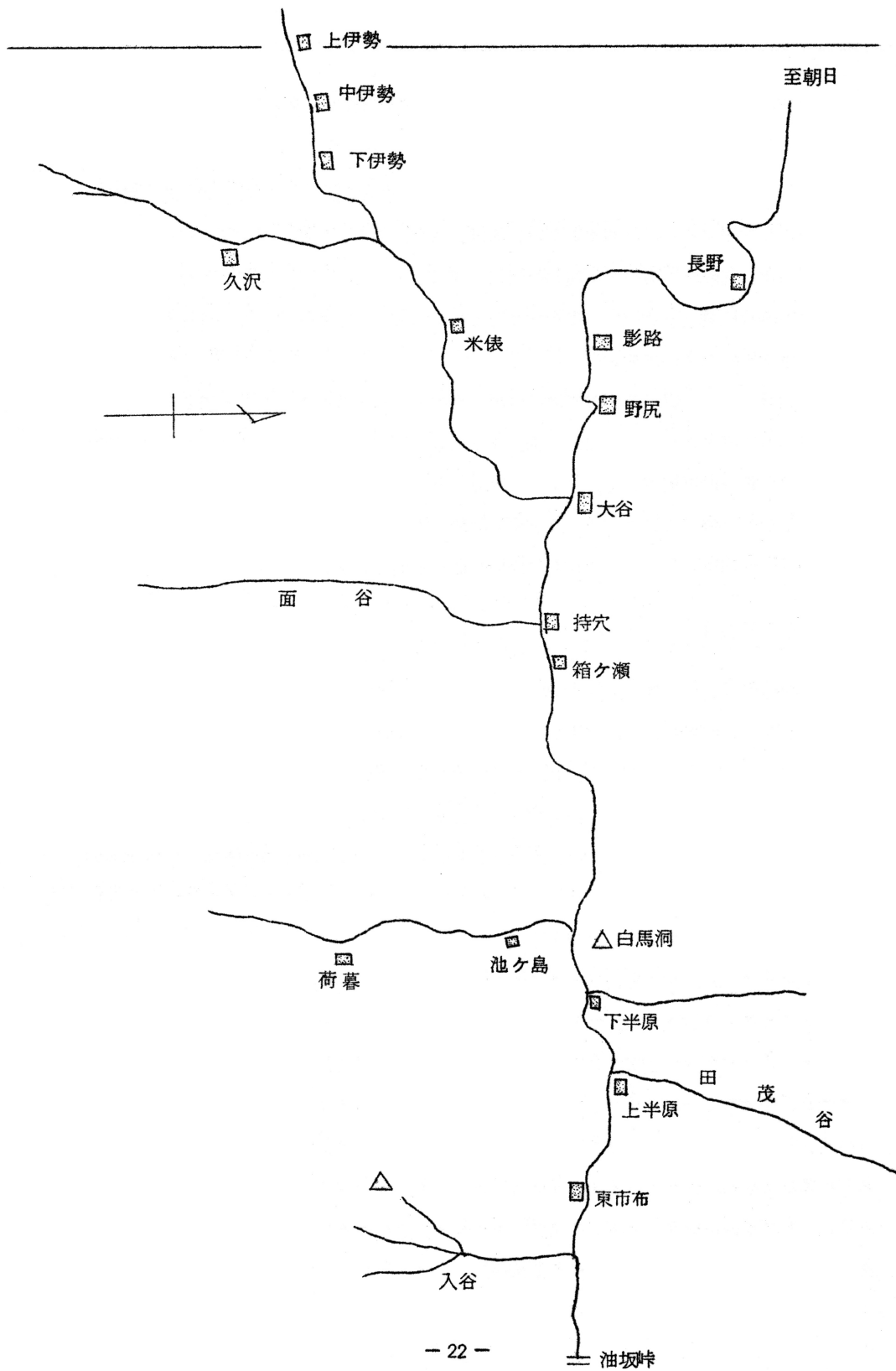
〔大谷付近の植物〕

部落跡堤防には、ツルヨシ、ヨウシュウヤマゴボウ、イタドリ、ヤマグワ、ヨモギ、オオイヌタデ、ミゾソバ、ボタンズル、オオアレチノギク、クサノオ、ダントロボギク、ハナタデ、キウリグサ、スギナ、ハクサンアザミ、ノアザミ、カモジグサ、スギナ、エノキグサ、ムシトリナデシコ、メヒジワ、ヒメジヨオン、ハンゴンソウ、ヒメムカシヨモギ、ヤブジラミ、オカトラノオ、ヤブレガサ、ワレモコウ、ノイバラ、コマツナギ、カワラナデシコ、トダシバ、チダケザシ

海拔540mぐらいの山地(北側)には

カントウマユミ、コマユミ、サイゴクミツバツツジ、マルバマンサク、ウリカエデ、チャボガヤ、ハナイカダ、タニウツギ、ヤマウルン、ハイイヌガヤ、シロモジ、アズキナシ、トチノキ、ミヤマハハソ、アカシデ、アサクラザンショウ、ツノハシバミ、ミヤマガマズミ、エゴノキ、ミズナラ、ヤマモミジ、ノイバラ、オニグルミ、ウワミズザクラ、タラノキ、ホウノキ、ダンコウバイ、ヤマモミジ、シナノキ、エゾユズリハ、ザイフリボク、リョウブ、ソヨゴ、ミズナラ、ネジキ等の木本類、タマアジサイ、オオカニコウモリ、キケンシヨウマ、ウワバミソウ、ツルニンジン、リョウメンシダ、サカゲイノデ、ゼンマイ、クジャクシダ、ミゾシダ等の草本、羊歯が見られた。また南東方向の湖の島になる部分は

クリ、アズキナシ、ソヨゴ、ネジキ、ミズナラ、リョウブ、タムシバ、マルバマンサク、コシ



アブラ、イモノキ、マルバアオダモ、エゾユズリハ、オオヤマザクラ、コナラ、ハイイヌツゲ、ナンキンナナカマド、アクシバ、ヤブコウジ、ヤマウルシ、バイカツツジ、ヤマツツジ、サイゴクミツバツツジ、アクシバ、ミヤマガマズミ、オオバスノキ、ウリハダカエデ、ホツツジ、タンナサワフタギ、ザイフリボク、ハナヒリノキ、ヒメモチ、オオウラジロノキ、ナナカマド、コナラ、シロモジ、ウスギヨウラク、アカミノイヌツゲ、ネジキ、ツルマサキ、コハウチワカエデ、ツルシキミ、ブナ、ヒメコマツ、チゴユリ、ツルアリドウシ、ワラビ、シシガシラ、マンネンスギ等が見られた。(ブナ、ヒメコマツは海拔600mから出現)

〔米俵、久沢、伊勢方面〕

米俵部落の西側の山地には、ミツバウツギ、ヤマモミジ、マルバマンサク、シロモジ、ツノハシバミ、チャボガヤ、ハナイカダ、ハイイヌガヤ、ヒメアオキ、ミズナラ、タニウツギ、ウワミズザクラ、サワフタギ、トチノキ、ムシカリ、コバノガマズミ、ヤマブキ、ツルマサキ、コマユミ、ケヤキ、ウリノキ、イヌツゲ、ムラサキシキブ、マルバアオダモ、カマツカ、アカシデ、ミヤマハハソ、ツタウルシ、ツリバナ、オニグルミ、エゾユズリハ、イワガラミ、サルナシ、オトコヨウゾメ、コバノクロウメモドキ、ナガバモミジイチゴ、の木本類、チゴユリ、フシグロセンノオ、スミレサイシン、タチツボスミレ、ハエドクソウ、アキギリ、ニシノホンモンジスゲ、シロヨメナ、ノササゲ、ナルコユリ、ヤマルリソウ、シシバオウレン、エイザンスミレ、ウワノミツバ、ヤマクマバナ、コウモリカズラ、トモエソウ、ギボウシsp.等の草本類
サトメシダ、カラクサイヌワラビ、ジユウモンジシダ、ヒメシダ、サカゲイノデ、クジヤクシダ、ヤマイヌワラビ、クサソテツ、キョダキシダ、イヌワラビ、シシガシラ、ワラビ、スギナ等の羊歯類が見られた。

米俵から伊勢にかけての道路横には、ガマ、ヒメガヤ、ホタルイ、ヒメシロネ、フツキシソウ、コシノネズミガヤ、オオネズミガヤ、クマバナ、チマキザサ、クロモジ、オオモミジ、マダイオウ、ヒカゲスミレ、シモツケソウ、オニルリソウ、ヌカボ、シラスゲ、イ、ホソイ、ゴウソ、ヤマボクチ

久沢方面には、マルバハギ、コバノクロウメモドキ、アオハダ、ブナ、アワブキ、ウスギヨウラク、ヤマハギ、クマンデ、ウリノキ、ウワミズザクラ、ヤマボウシ、ハウチワカエデ、バライチゴ、ハクウンボク、ムシカリ、ウリカエデ、シロモジ、ヒトツバカエデ、スノキ、ユクノキ、オオハナヒリノキ、バイカツツジ、サワグルミ、モミジイチゴ、オヒヨウ、ヤマモミジ、オオモミジ、ムラサキマユミ、ヒメモチ、ミヤマガマズミ、オニイタヤ、オオズミ、サワシバ、チヨウ

ジザフラ、オクチヨウジザクラ、コマユミ、ヒナウチワカエデ、コミネカエデ、ケカマツカ、ウラゲエンコウカエデ、ダンコウバイ等の木本類、エンレイソウ、オオネバリタデ、クサアジサイ、エビズル、オニドコロ、シカクイ、ゴマナ、クルマバナ、タチカメバソウ、テンニンソウ、ツクパネソウ、アケバノソウ、イワアカバナ、ダイコンソウ、ヤマヨモギ、トチパニンジン、ムカゴイラクサ、モミジガサ、ヌスビトハギ、マカカゼソウ、ハンゴンソウ、ヤブマメ、ヤマオダマキ、キクバエビズル、イヌトウバナ、ネバリタデ、オククルマムグラ、ホソバヤマハハコ、ヤマハハコ、ヘクソカズラ、ヒロウドヤイトバナ、ハツカ、ヌスビトハギ、ホソバガンクビソウ、オニルリソウ、ハクサンカメバヒキオコシ、オオネズミガヤ、タニタデ、コンロンソウ、イワウチワ、サワオトギリ、ウチワドコロ等の草本類、イタチシダ、イワイタチシダ、ホテイシダ、サトメシダ、ハクモウイノデ、オシダ、ワラビ、ゼンマイ、サカゲイノデ、クサソテツ、リヨウメンシダ、ヒメシダ、ヒメワラビ、ヤワラシダ等の羊歯が見られた。

〔 面 谷 方 面 〕

木本類には、ナナカマド、マルバノキ、コバノトネリコ、ムシカリ、ムラサキシキブ、シロモジ、ダンコウバイ、ウツギ、ミヤマハハソ、ヨグソミネバリ、オオバヤシヤブシ、ヒメヤシヤブシ、ハナイカダ、シナノキ、ノリウツギ、ヤマブドウ、タマアジサイ、サワシバ、ヤマモミジ、サルナシ、サワフタギ、サイゴクミツバツツジ、マルバアオダモ、ツリバナ、ヤマハンノキ（コバノヤマハンノキ型）、オオキツネヤナギ、オニツルウメモドキ、ヤマナラシ、エゾエノキ、カンボク、オノエヤナギ、クロズル、ケキブシ、ハナヒリノキ、オオハナヒリノキ、サワフタギ、ウリハダカエデ、ミヤマイボタ、ツルウメモドキ、ナツグミ、オトコヨウゾメ、ネジキ、ナツハゼ、スノキ、アキシバ、チヨウジザクラ等。

草本類には、クモキリソウ、メヤブマオウ、イヌタデ、イヌハウズキ、キケンシヨウマ、ソバナ、オトギリソウ、ノガリヤス、オニドコロ、ヨツバヒヨドリ、シモツケソウ、フタリシズカ、エゾリンドウ、シシウド、クロバナヒキオコシ、ヤマブキシヨウマ、フシグロセンノオ、ハエドクソウ、クサボタン、ツリガネニンジン、ボタンズル、ウマノミツバ、ヘラオモダカ、ヤマボクチ、ネジバナ、マツヨイグサ、ナンテンハギ、シロヤジオウ（塊出）、キジムシロ、ツルタガラシ、ウチワドコロ、アキチヨウジ、ヤマジノホトトギス、イヌトウバナ、クルマバナ、イワカガミ、カリヤス、ヤマホタルブクロ、テキリスゲ・シハイスミレ、ノテンツキ、コウガイゼキシヨウ、マルバカンアオイ等

羊歯類、ヘビノネコザ、ヒロメヘビノネコザ、ミゾシダ、ヒカゲノカズラ、ヤワラシダ等が見

られた。

〔白馬洞 付近〕

木本類には、マルバノキ、シロモジ、サワダツ、バイカウツギ、ウラゲエンコウカエデ、オヒヨウ、チドリノキ、フサザクラ、コバノクロウモドキ、マルバアオダモ、アズキナシ、サワフタギ、ヤマザクラ、シナノキ、ザイフリボク、ケキブシ、ノイバラ、コマユミ、チャボガヤ、ウラジロマタタビ、ケカマツカ、ムラサキシキブ、ユクノキ、ミヤマクロモジ、サルマメ、マルバサンキライ等

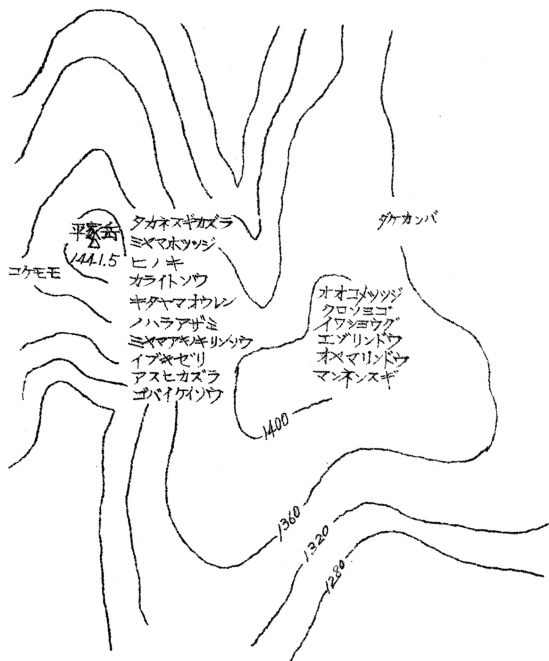
草本類には、ヤブレガサ、ヒメキンミズヒキ、アキチヨウジ、イケマ、ノリクラアザミ、ガンクビソウ、ハクサンアザミ、カガノアザミ、ヤマクルマバナ、ハルトラノオ、コセリバオオレン、アキギリ、ウチワドコロ、アカソ、トキボコリ、ウワバミソウ、ミヤマイラクサ、ムカゴイラクサ、ツリフネソウ、ヤマトウバナ、トウバナ、ママコナ、アキカラマツ、ツルボ、エゾノアブラガヤ、等羊歯植物には、ハクモウイノデ、イワガネゼンマイ、ウラゲイワガネ、ミヤマベニシダ、オオヒメワラビ、オオヒメワラビモドキ、ヤマヤブソテツ、ミヤコヤブソテツ、オオレンシダ、ツルデンダ、クモノスシダ、オオクジヤクシダ、ナガホノナツノハナワラビ、ヒロハシケチシダ、ヌリワラビ、イヌドクサ、ヤマイヌワラビ、サトメシダ、カラクサイヌワラビ、サカゲシダ、イヌワラビ、ヒメワラビ、ヤワラシダ、キヨタキシダ、ミヤマシケンダ、トラノオシダ、ジユウモンジシダ、

〔入谷 国有林〕

木本類には、ブナ、ミズナラ、コウヤマキ、ヒメコマツ、カラマツ(3本)リヨウブ、マルバノキ、シロモジ、ヤマグルマ、ケキブシ、コマユミ、ハクウンボク、コミネカエデ、ウリハダカエデ、タマアジサイ、エゴノキ、コゴメツツジ、タンナサワフタギ、タムシバ、ウリノキ、ツノハシバミ、チドリノキ、サワダツ、ウツギ、カツラ、モミジイチゴ、ミヤマイボタ、ウラゲエンコウカエデ、ナツツバキ、ナンキンナナカマド、ウスギヨウラク、ハイイヌツゲ、アラゲアオダモ、オオバスノキ、クロモジ、ミヤマガマズミ、マンサク、オヒヨウ、バツコヤナギ、チヨウジザクラ、オオモミジ、ヤマモミジ、クロベ、クロソヨゴ、サワシバ、クマシデ、ムラサキヤシホ、オノエヤナギ、マタタビ、オオキツネヤナギ、ヒナウチワカエデ、ハスノハイチゴ、ヒロハツリバナ、ホンシヤクナゲ?、ヒロハキハダ、オオヤマザクラ、キンキマメザクラ、イタヤメイゲツ、オニツルウメモドキ、ヤマトアオダモ、シナノキ、フサザクラ、タニウツギ、ヒノキ、ヤシヤビ

シヤク、アオハダ、ヒメモチ、ミヤマシグレ、ミヤマイボタ、サルナシ、イヌシデ、フサザクラ、ウワミズザクラ、エゾエノキ、マツブサ、ミズキ、サワグルミ、オニグルミ、トチノキ、コシアブラ、イモノキ、タラノキ、ツルマサキ、ヤマアジサイ、コアジサイ、スノキ、アクシバ、ヒトツバカエデ、ウラジロノキ、コバシジノキ、メグスリノキ、ツルシキミ、サイゴクミツバツツジ、ウスノキ、ネジキ、ナツハゼ等、

草本類には、ソバナ、ホドイモ、ヒナチドリ、オオバコ、サワギク、イワアカバナ、アカバナ、ジヤコウソウ、ホウソバガンクビソウ、ノリクラアザミ、ヤマジノホトトギス、ウチワドコロ、スミレサイシン、オオカニコウモリ、ユキザサ、ヒカゲミツバ、オトギリソウ、サワオトギリ、オオナルコユリ、サワハコベ、イワタバコ、アカソ、トキワイカリソウ、ミヤマトウバナ、ヤマトウバナ、ヤマボクチ、シラネセンキュウ、アキチヨウジ、ヒカゲミツバ、イタドリ、エゾオオバコ、イワウチウ、ミヤマママコナ、ツリフネ、キツリフネ、キンミズヒキ、ヒメキンミズヒキ、ノアザミ、ゴマナ、ヤグルマソウ、フタリシズカ、ハンゴンソウ、ヤマシヤクヤク、フキ、ウワバミソウ、ヤマヨモギ、タケニグサ、



平家岳の植物
(ウエルウイツチャによる)

羊歯類には、サトメシダ、マンネンシギ、シノブカグマ、キヨタキシダ、イワヒメワラビ、ハリガネワラビ、シノブ、イワイタチシダ、イタチシダ、ヘビノネコザ、カラクサイヌワラビ、ミヤマノキシノブ、ナガオノキシノブ、ミヤマベニシダ、オンダ、ヒメコケシノブ、ナライシダ、ハクモウイノデ、ヒメワラビ、ホテイシダ、サカゲイノデ、ヤマソテツ、ヒカゲノカズラ、ヤワラシダ、ヒメシダ、ワラビ、ゼンマイ、イヌシダ、イヌワラビ、サトメシダ、ジユウモンジシダ、リヨウメンシダ等が見られる。

キタヤマオウレン(岐阜県特産の植物)が、平家岳の頂上に分布していることから、ハスノハイチゴ、コウヤマ

キ、サルマメ、マルバサンキライ、コセリバオウレン、ヤマグルマ、マルバノキ、シロモジ、サツキ、ミヤマクロモジ等の外帯系植物は油坂峠を通過して本県に入り込んだものと思われる。